

No. 762

がんばれ信夫君

178頁

—札 幌—

8月14日午後9時半すぎ日本で初の心臓移植手術を受けた宮崎信夫君の意識は完全に回復、手術後第一のヤマを越えました。この初めてのこころみは日本中の注目を集めるとともに心臓提供者の死亡時期の決定に関する論議をよびました。

心臓を提供してくれた山口さん一家和田教授の熱心な診察、また日本中からのあたたかいはげましによって宮崎君は手術後二週間たった今、恐れられた拒否反応もなく順調に回復を続けています。

今週の焦点

死者不明—〇四人

417

—バス転落惨事—

8月18日午前10時30分すぎ、岐阜県加茂郡白川町河岐の国道41号線でバス2台が土砂に押し流され飛騨川へ転落。死者不明104人とバスの事故としては世界最大の惨事となりました。

事故当日、この地方は台風7号の影響で局地的な豪雨に見舞われ岐阜気象台は大雨洪水警報を出していました。犠牲者のほとんどは名古屋の団地新聞、奥様ジャーナル、と地元の観光業者が募集した人たちでした。

せっかくの楽しいレジャーの悲しい結末、惨事の直接の原因となった国道41号線はこの雨で12カ所も土砂くずれ、事故現場の改良工事は39年に行なわれ以後2年に2回から3回の土砂くずれがありながら危険箇所とは指定されていませんでした。